資料3－2

（仮称）町田市文化芸術のまちづくり計画

（素案）

2025 年●月

町田市

― はじめに ー

文化芸術は、人の営みの軌跡であり、

ありのままの自分を表現するための術でもあります。

わたしたちの暮らしに潤いや彩りを添え、

あるいは、心を豊かにし、喜びや幸せを感じるだけでなく、

人と人とがつながることや、多様性を認め合うことに加えて、

支え合いの土壌を育むといった、様々な役割を果たしています。

また、無限に広がるイマジネーションを喚起する創造の糧ともなり、

生きる力や未来への希望を生む、人間活動そのものともいえます。

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

このまちでなら

住む人も訪れる人も、文化芸術を自然と感じ、触れられる、

文化芸術から生まれた人と人とのつながりの温もりや賑わいを体感できる。

ある人は、これまで抱き続けていた“やってみたい”を叶え、成長していける、

また、ある人は、ちょっといい街、ちょっといい暮らしを実感し、

まちへの愛着を抱いて、住み続けたい、あるいは、何度でも訪れたいと思える

町田市は、文化芸術の薫るまちづくりを進め、

市内各地で色とりどりの“笑顔”が咲き、賑わい続けるまちを目指します。

市長写真挿入

ご挨拶

（市長挨拶文）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

市長作品
画像挿入

目次

1 計画策定の背景と目的 7
（１）策定の背景（社会状況の変化） 7
（２）策定の目的 8
（３）計画のつくり方 8
2 基本的な考え方 9
（１）計画の位置づけ 9
（２）構成と計画期間 9
（３）文化芸術の範囲 10
（４）対象 10
（５）区域 10
（６）市の役割 11
（７）文化芸術に関する各主体と期待すること 11
3 目指す姿 12
4 町田市の特色とあゆみ 14
（１）町田市の特色 14
（２）町田市の文化芸術まちづくりのあゆみ 15
5 文化芸術のまちづくりに向けた方向性 16
【方向性❶】誰もが文化芸術を楽しめる環境をつくる 17
【方向性❷】町田市の文化芸術のイメージを強化していく 18
【方向性❸】文化芸術の鑑賞・活動の場をつくる 19
【方向性❹】美術品や文化財を保存し、未来に継承していく 20
【方向性❺】文化芸術を支える多様な団体・市民を育成していく 21
6 基本方針と施策 22
7 計画体系 23
8 文化芸術プロジェクト 24
～まちだ Smile-ring project（スマイリングプロジェクト）～ 24
Project A “みんなの夢”を叶える 24
Project B 大型イベントの実現 25
Project C 「文化芸術にぎわい創出エリア」の活性化 25
9 施策と取り組み 26
基本方針１ きっかけをつくる 27
施策１ 誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保 28
施策２ 情報環境の拡充 30
基本方針２ 場をつくる 32

施策１　施設の整備・活用 33
施策２　活動の場の充実 34
基本方針３　未来につなぐ 35
施策１　文化財の保存・活用 36
施策２　次世代への継承 37
基本方針４　共に創る 39
施策１　市民や団体等のチャレンジの創出 40
施策２　企業等との共創による推進 41
10 計画の推進体制 43
（１）庁内の推進体制 43
（２）町田市文化芸術のまちづくり推進委員会 43
資料編　（※別冊に切り分け、データのみとします。本編からは二次元コードで誘導） 44

1 計画策定の背景と目的

（1）策定の背景（社会状況の変化）

■文化芸術と様々な分野との連携が求められています。

国は、2017 年に文化芸術基本振興法を改正し、「文化芸術基本法」を施行しました。同法においては、文化芸術によって生み出される様々な価値を文化芸術の継承や発展、創造に活かせるよう、観光や福祉、教育その他の各関連分野との連携を配慮することを求めています。また、こうした動きに伴って、文化芸術と他の関連分野との連携を進める法整備※1も進んでいます。

※1　２０１８年：「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」施行・・・障害者の文化芸術活動を幅広く促進するための法律
「文化財保護法」改正・・・地方自治体が主体的に文化財を保護し、観光に活用できるよう改正
２０２０年：「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」施行
・・・文化資源の理解を深める機会を増やし、国内外からの観光客を誘致することで、文化振興、観光振興、地域の活性化という好循環を創出するための法律
２０２２年：「博物館法」改正・・・博物館が地域の観光拠点となることが努力義務化。新たな業務としてデジタルアーカイブの構築を加える改正

■デジタル技術が進展し、文化芸術がより身近になっています。

デジタル技術の急速な進展によって、美術館や博物館のバーチャルツアーやデジタル展示、オンラインコンサートや演劇など、オンライン鑑賞が普及し、地域や時間に制約なく誰もが手軽に楽しむことができるようになり、文化芸術への理解を深める機会がより一層身近になっています。

■文化芸術を発信するチャンスが訪れています。

アーティストや文化団体等がＳＮＳを利用して広く作品を発信し、ファンやコミュニティを形成することや、文化遺産や歴史的資料、芸術作品をデジタルアーカイブ化してオンラインでアクセスできるようにするなど、デジタル技術を活用することで活動や創作物等をより広く発信できるようになっています。また、インバウンドが年々増加している中、日本の文化芸術を世界に発信するチャンスも訪れています。

■体験や特定の時間を重視するような社会に移り変わっています。

個人の価値観やライフスタイルの変化によって、従来の物を所有する「モノ消費」から、体験やサービスを通じて得られる満足感や感動を求める「コト消費」へとシフトするとともに、旅行やイベントなど、特定の瞬間や限られた時間を特別なものにするような「トキ消費」も重視する社会に移り変わっています。

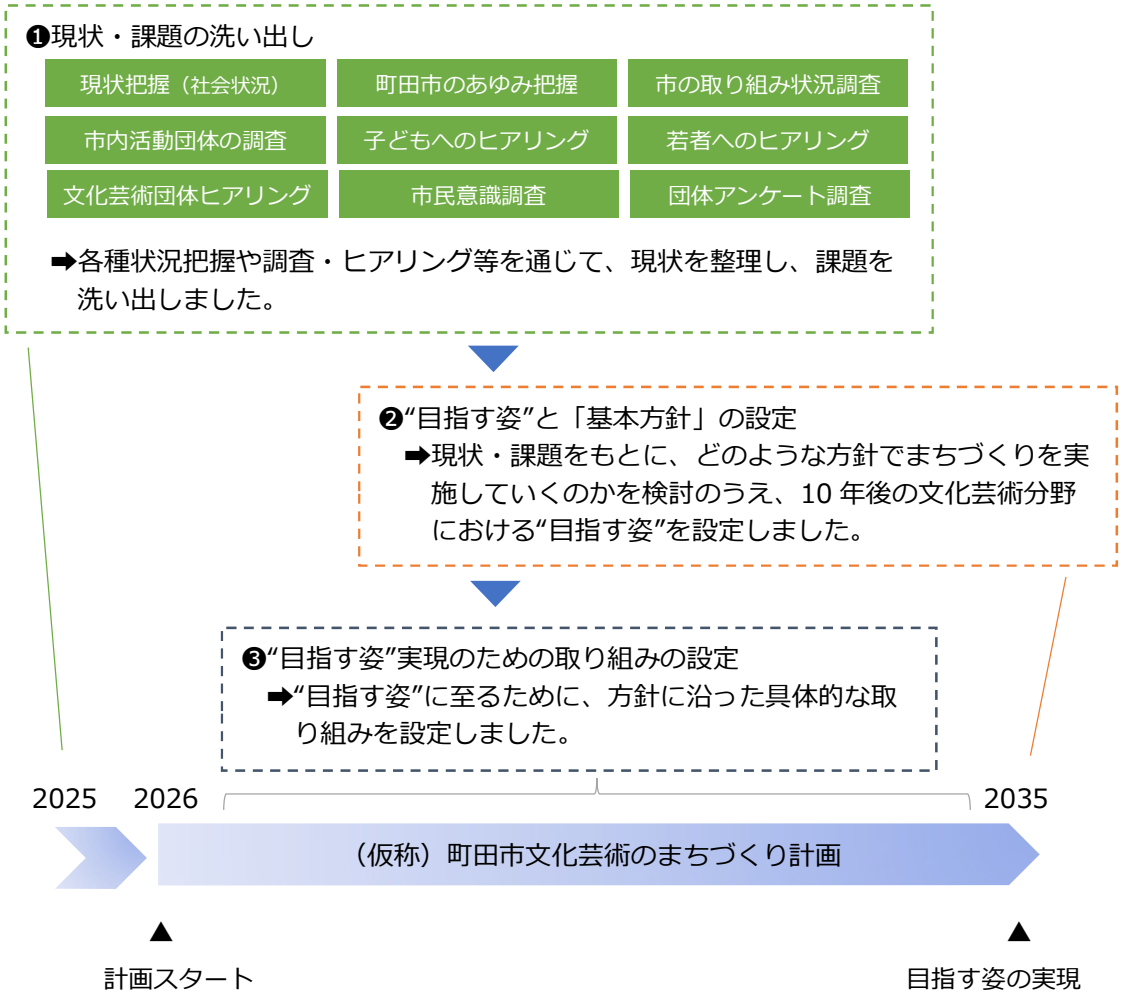
■新たな社会的つながりが生まれています

デジタル化社会の進展によって、これまでの地域や地理的なつながりを基盤にしてきた地縁型コミュニティに加えて、地理的な制約を超えて共通の興味や趣味、価値観を共有する人々がオンラインやオフラインで集まり、多様な関心に基づいて交流する「テーマ型コミュニティ」といった新しい社会的なつながりが生まれています。

（２）策定の目的

「まちだ未来づくりビジョン２０４０」に掲げる”なりたいまちの姿”に至るための政策（政策７ ありのまま自分を表現できるまちになる）の実現に向けて、施策（施策 7-2 文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる）を推進するため、文化芸術に関わる多様な主体との連携を密にするとともに、観光や福祉、教育その他の各関連分野との連携を強化し、計画的にまちづくりを進めることをもって、誰もが文化芸術を楽しみ、町田市への愛着やまちのにぎわいにつなげていくことを目的として策定します。

（３）計画のつくり方

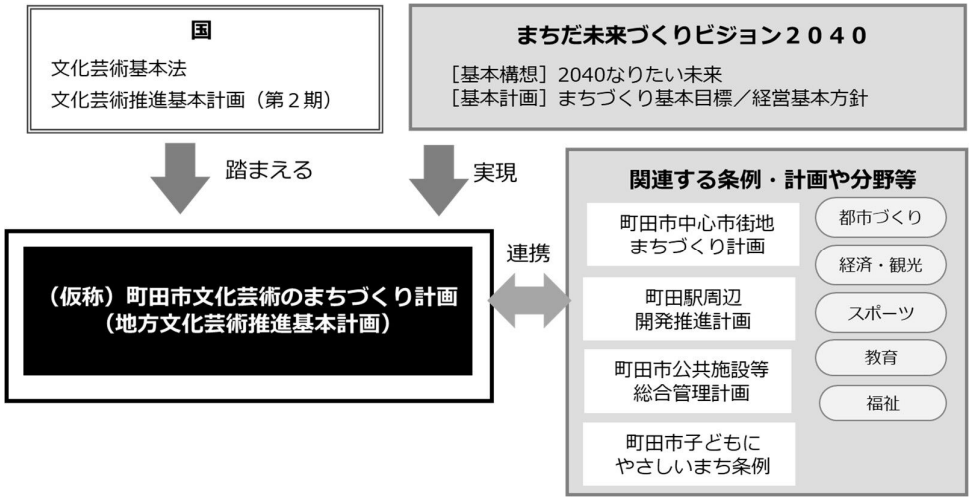


2 基本的な考え方

（1）計画の位置づけ

文化芸術基本法を踏まえるとともに、「まちだ未来づくりビジョン２０４０」を実現するため、関連する条例や個別の計画等との連携を図りながら事業を推進します。

なお、本計画は、文化芸術基本法第７条の２第１項に基づく地方文化芸術推進基本計画として策定します。



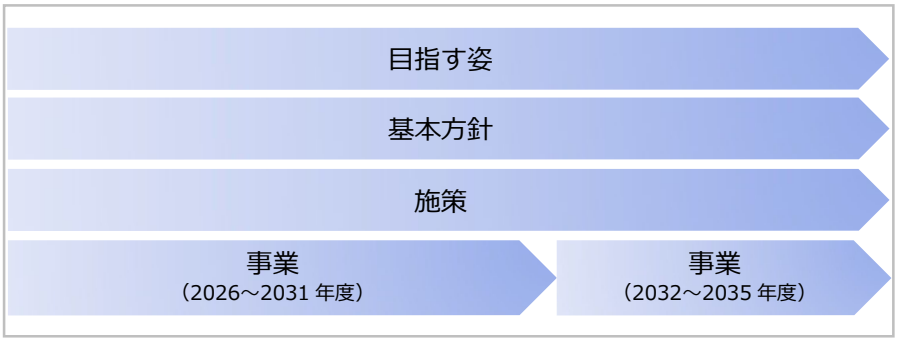
（2）構成と計画期間

本計画は、「目指す姿」、「基本方針」、「施策」、「事業」の４階層で構成し、目指す姿の実現に向けて、基本方針に沿って施策や事業を展開します。

また、計画期間は、2026 年度から 2035 年度までの 10 年間とします。なお、施策に基づく「事業」については、前期（2026～2031 年度）と後期（2032～2035 年度）に分け、前期終了時に見直します。

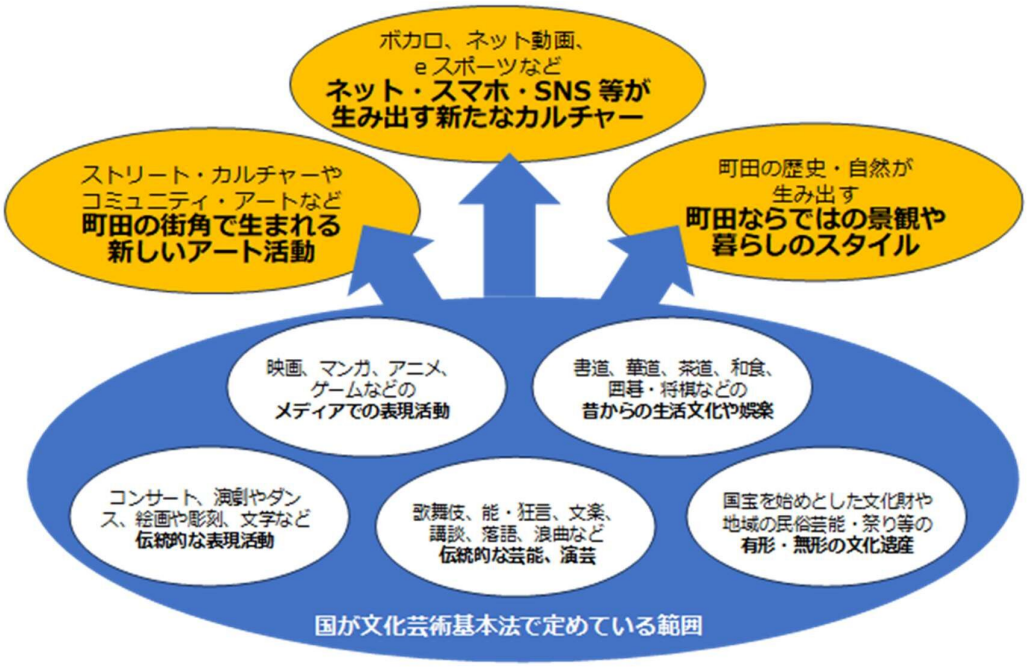
（仮称）町田市文化芸術のまちづくり計画

2026 年度　　2035 年度



（３）文化芸術の範囲

本計画では、文化芸術基本法に規定されている文化芸術の範囲に、景観や街並みなどの「町田市の歴史と生活」や、ストリートカルチャー・コミュニティアートなどの「新しく多様な取り組み」等も積極的に受け入れ、文化芸術を広く捉え、まちの賑わい創出に資する計画とします。



（４）対象

町田市民を基本とし、町田市に関わる方や訪れる方も対象とします。

➡年齢、国籍の違いや、障がいや病気の有無、また文化芸術のスキルレベル等に関わらず、全ての方が対象です。

（５）区域

本計画においては、市域全体を文化芸術の舞台とします。

また、「町田市中心市街地まちづくり計画」において、文化芸術は町田駅周辺の中心市街地の賑わい創出に向けて欠かせないものと位置付けています。このことから、文化芸術活動や施設が集積し、多様に展開されている町田駅周辺地域を「文化芸術にぎわい創出エリア」として定め、本エリアを基軸として市民の文化芸術の鑑賞や活動の展開、市外からの来訪促進を図ります。

（6）市の役割

市は、市内で行われる文化芸術活動において、（7）に掲げる関係主体のほか、町内会・自治会や福祉団体、まちづくり関連団体等と横断的な連携を図り、文化芸術活動を支えていくとともに、協力して町田市の文化芸術を発展させるための場づくりや仕組みづくりを進めます。

また、文化芸術に関する情報を一元的に発信し、文化芸術の魅力を市内外に広く伝えていきます。

（7）文化芸術に関する各主体と期待すること

関係主体	期待すること
文化関係団体	●文化芸術活動の積極的な展開・既存の取組の拡充 ●市事業への協力、文化芸術に関わる各種団体との連携・協働　など
経済関係団体	●文化芸術事業と中心市街地の再開発事業との連携によるにぎわいづくり ●市の集客力アップのための連携・協働（商店会、商業施設などとの調整含む）など
観光関係団体	●文化芸術事業と観光事業との連携によるにぎわいづくり・イメージづくりなど
小・中学校	●児童・生徒への文化芸術体験機会や情報の提供、文化部の活動との連携、アーティストや指導者の活動機会の提供　など
教育機関（高等学校・大学等）	●学生への文化芸術情報の提供、保有する文化芸術の専門知識の提供 ●各地域に根差した文化芸術機会の提供　など
文化芸術外郭団体	●市事業実施への協力 ●文化芸術に関わる各種団体との連携・協働の促進 ●アーティストや指導者の紹介　など

3 目指す姿

目指す姿

文化芸術を育み 笑顔咲くまち
～町田で Let’s stART～

＊目指す姿に込めた想い＊

<文化芸術を育み>

「育む」の言葉には、文化芸術活動のはじめの一歩を踏み出すことや新たに挑戦することで技術的に上達していく、感性を豊かにしていくという意味を込めています。また、それらに加えて文化芸術に親しむきっかけとなる鑑賞の機会や活動をはじめやすい環境を整える意味のほか、これまで形作ってきた文化芸術を未来に継承していってもらいたいといった想いも含んでいます。

<笑顔咲くまち>

「素晴らしい作品に出会ったとき」、「できなかったことができるようになったとき」、「作品制作や練習の成果が形になるとき」、私たちは、活力や充実感、達成感を得ます。そして、その先には、一人ひとりの素敵な“笑顔”が花開き、広がっていきます。

本計画を着実に進めていくことで、１０年後の町田市では、市内各地で色とりどりの“笑顔”が咲き、賑わい続けるまちをつくっていくという想いを込めています。

◆言葉の要素◆

機会や場をつくって
文化芸術を、
育む／未来につなぐ

▲

★目指す姿検討のための
キーワード
（市の特色や現状等から）

- ■文化芸術活動を始めやすい環境
- ■子どもへの文化芸術体験
- ■市民が主体的に活動できる土壌
- ■文化芸術に親しめる環境
- ■担い手づくり
- ■次世代への継承
- ■体験等を重視する社会到来

副題：～町田で Let’s stART～

文化芸術の鑑賞や活動にあたり、思い立ったタイミングが絶好のはじめ時です。文化芸術を鑑賞したい人、活動したい人など、誰もが町田で文化芸術に触れ、スタートを踏み出せるよう、そして、文化芸術の土壌を育んでいけるよう、目指す姿の副題を～町田で Let’s stART～と定めます。

★目指す姿が実現した町田市では★

町田市の文化芸術が広がることで期待する効果

●まちへの愛着が生まれ、住み続けたいと思える

●まちの賑わいが続いていく

文化芸術のまちづくりによる
まちのイメージ
Ａ３見開きでイラスト展開（中垣氏依頼）

4 町田市の特色とあゆみ

（1）町田市の特色

●文化芸術に親しめる環境が揃っています

駅周辺の都会的な賑わいがありながらも、北部には豊かな自然環境が広がっており、都市と緑のバランスがちょうどいいまちです。加えて、市域の外縁にはＪＲ横浜線や小田急小田原線、東急田園都市線、京王相模原線の４路線が通り、首都圏の文化芸術の集積地である東京都心や横浜には、いずれも約 30 分程度で結ばれ、交通利便性の高い立地にあります。また、市内や近郊には、芸術系の大学や学部、専門学校が多くあり、文化芸術に親しめる環境が揃っています。

●一人ひとりが輝けるまちづくりを進めています

2022 年にスタートした町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン２０４０」では、誰もが夢を持ち、幸せを感じられるような未来をつくるため、ライフステージに応じて活躍できるまちづくりを進めています。また、「町田市性の多様性の尊重に関する条例（2023 年）」や「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例（2024 年）」を施行しており、一人ひとりが輝けるまちの実現を目指しています。

●子どもにやさしいまちづくりを進めています

ユニセフが主唱する「子どもにやさしいまちづくり事業」の実践自治体（全国６市のうちの１市）として承認を受けています。近年は、これまでの“子どもにやさしいまちづくり”が実を結び、0～14 歳の年少人口の転入超過数が全国トップを維持し続けており、多くの子育て家庭に選ばれています。2024 年度には「子どもにやさしいまち条例」を施行し、子どもの参画等も積極的に取り入れて、子どもにやさしいまちづくりが一層推し進んでいます。

●特徴的な文化芸術関連施設があります

町田駅近くの町田市民文学館ことばらんどでは、J-POP やマンガ、タイポグラフィー等、近代文学の範囲を超えた挑戦的な企画を多数実施しており、高い評価を得ています。また、芹ヶ谷公園“芸術の杜”には国内唯一、世界でも珍しい版画をテーマとした町田市立国際版画美術館があり、歌川広重の浮世絵等の国内外の著名作品を含む版画のコレクションが３万点以上収蔵されており、「開かれた美術館」として、市民がいつでも自由に利用でき、鑑賞や創作・発表などの活動ができます。

●町田駅周辺エリアのリニューアルの機運が高まっています。

1958 年２月の市制施行から 65 年余りが経ち、まちのリニューアルの時期を迎えています。町田駅周辺では、再整備・再開発の検討が進んでおり、「町田市都市集客機能整備方針（2024 年３月策定）」では、都市の集客機能を高めるため、ポップス系コンサートの貸館需要が見込める 2,000 人前後の音楽・演劇ホールを整備する方向性を示しています。また、「町田駅周辺開発推進計画（2024 年６月策定）」に基づいて、駅周辺の新たな賑わいづくりの核となる機能のイメージとして、目的地となるような魅力的なコンテンツを提供するエンタメ施設の導入する検討を進めています。

（２）町田市の文化芸術まちづくりのあゆみ

5 文化芸術のまちづくりに向けた方向性

現状把握や各種調査・ヒアリング等から課題を洗い出し、文化芸術のまちづくりにあたって“目指す姿”や“基本方針”等を明らかにするための「方向性❶～❺」を導き出しました。

方向性❶
誰もが文化芸術を楽しめる環境をつくる

方向性❷
町田市の文化芸術のイメージを強化していく

方向性❸
文化芸術の鑑賞・活動の場をつくる

方向性❹
美術品や文化財を保存し、未来に継承していく

方向性❺
文化芸術を支える多様な団体・市民を育成していく

目指す姿
基本方針
重点プロジェクト
施策

課題①
誰もが気軽にあらゆる文化芸術を楽しめるよう、鑑賞や体験の機会を広げる必要があります

課題②
町田市の文化芸術の認知度を上げ、最大限に活用していく必要があります

課題③
町田駅周辺の中心市街地再整備・再開発の方針を踏まえ、文化芸術を鑑賞する場や市民が活動を行う場を整備する必要があります

課題④
市が誇る美術品や史跡、重要文化財、民族芸能等の有形・無形文化財を適切に収集・保存し、次世代に継承していく必要があります

課題⑤
文化芸術活動を未来につなぎ、発展させていくため、多様な人や団体を育てていく必要があります

社会状況の変化	町田市の特色	市民意識調査
子どもへのヒアリング	若者へのヒアリング	団体アンケート調査
市内活動団体の調査	文化芸術団体ヒアリング	

【方向性❶】誰もが文化芸術を楽しめる環境をつくる

◆課題解決のキーワード：鑑賞・体験の機会の充実

○ 課題

誰もが気軽にあらゆる文化芸術を楽しめるよう、
鑑賞や体験の機会を広げる必要があります

○ 現状、意識調査・アンケート、みなさんの想い

小規模のホールが充実している	町田市民ホール（862 席）をはじめ、和光大学ポプリホール鶴川（300 席）、市民センターにある多目的ホールなどの公共施設のほか、桜美林芸術文化ホールなど、小規模のホールが市内に多くあります。
全国レベルの演技や演奏が身近にある	市内の学校には、全国コンクールの上位に入賞する吹奏楽部や合唱部があり、文化系の部活動が活発に行われています。また、市のホールでは、まちだ全国バレエコンクールや全国町田ピアノコンクールなど、全国レベル演技や演奏を体感できます。
文化芸術を鑑賞する人の割合が低い（市民意識調査）	本市は立地的に、日本最大の文化芸術の集積地である都心部へのアクセスが良いものの、市民がホールや劇場、美術館、博物館等で文化芸術を鑑賞する割合 66.6%であり、全国（67.3%）をやや下回っています。 また、介護・介助が必要な方や障がいのある方々の文化芸術の鑑賞割合（介護等 29.2%、障がい 47.1%）と、健康面で問題のない方（69.9%）低い結果となっています。
子どもへの文化芸術体験が重要視されている（市民意識調査）	市民が重要だと思う中学生以下の子どもの文化芸術体験として、「興味を持つきっかけとなる多様な機会の提供」や「学校での鑑賞や体験」などが重要と回答しています。
文化芸術活動団体への新規加入者が少ない（団体アンケート調査）	町田市文化芸術団体へのアンケート調査では、60.2%の団体が、新規加入者が少ないことを団体活動における課題として挙げています。また、58.3%の団体が課題として会員数の増加を重視しています。

- 若者の教育に生の芸術文化の鑑賞と体験があるといい
- もっと活動を発表できるような機会がほしい
- 大規模ホールがあれば、有名アーティストの公演を町田で鑑賞する機会が増え、うれしい
- 演劇表現活動に触れる機会をもっと増やせば、文化芸術の町田になる
- 障がい者の文化芸術に関する展示会があると作家のモチベーション向上や発掘にもつながる

【方向性❷】町田市の文化芸術のイメージを強化していく

◆課題解決のキーワード：市内の活動の認知度向上

○ 課題

町田市の文化芸術の認知度を上げ、
最大限に活用していく必要があります。

○ 現状、意識調査・アンケート、みなさんの想い

日本有数の美術品を保有している	町田市立国際版画美術館では、歌川広重の浮世絵等の国内外の著名作品を含む版画のコレクションが３万点以上、町田市立博物館にはボヘミアン・ガラス等のガラス工芸や中国・東南アジアなどの陶磁器等のコレクションが１万点以上収蔵されています。
民間の文化芸術活動が盛んで、多様に展開されている	茶道、華道、伝統芸能、美術、ジャズ、民族音楽等多彩な市民文化芸術団体が町田市民ホールや市民センターを利用して活発に活動しています。クラシック、音楽、オペラ、バレエ等の分野では、プロとアマ双方が連携する長い活動の歴史があります。 また、全国的に活動を広げる「音楽座ミュージカル」の拠点があり、駅前の「まほろ座」では、落語やご当地アイドルのプロデュースを実施するなど、文化芸術活動が展開されています。
文化芸術活動や資源の魅力がうまく伝わっていない（市民意識調査）	市民意識調査では、文化芸術のイメージについて「特にない」、「無回答」が多くなっています。
文化芸術分野においてデジタル技術を使った魅力発信が欠かせない（市民意識調査）	市民意識調査では、ホールや美術館で直接鑑賞しなかった理由として「インターネットで鑑賞したから」が多くなっています。
他の分野や地域・学校との連携した活動が少ない（団体アンケート調査）	町田市文化芸術団体へのアンケート調査では、他の分野の団体と連携した活動に取り組んでいる団体は 24.1%にとどまっています。また、地域や学校と連携した活動に取り組んでいる団体も 35.2%と、連携した活動が少なくなっています。

版画美術館や文学館、生涯学習センターは他市より優れていると思う	色んな団体が出られるお祭り、イベントをもっと企画したい	「演劇の日」「朗読の日」「映画の日」など設けて、多くの作品に触れる機会をつくってほしい
沢山のチームや団体で盛り上がるようなイベントを企画してほしい	子どもが体験できるようなイベントがあるといい	文化芸術面の“町田らしさ”をもっと広報してほしい

【方向性❸】文化芸術の鑑賞・活動の場をつくる

◆課題解決のキーワード：鑑賞・活動する場の充実

○ 課題

町田駅周辺の中心市街地再整備・再開発の方針を踏まえ、
文化芸術を鑑賞する場や市民が活動を行う場を
整備する必要があります。

○ 現状、意識調査・アンケート、みなさんの想い

子どもや若者が文化芸術活動を始めやすい環境が揃っている	市内１２か所にある子どもセンターや子どもクラブには、一部に音楽室や防音室を備えており、子どもや若者が文化芸術活動を始めやすい環境を整えています。
文化芸術活動の発表や練習の場の中心を担う市民ホールの老朽化	市内で活動する文化芸術団体にとって発表や創作、練習等で利用してきた町田市民ホールはオープンからまもなく 50 年を迎えます。過去に検討を進めてきた文化芸術ホールや、町田駅周辺への導入を検討している音楽・演劇ホール等を踏まえ、今後のあり方について検討する時期にあります。
ポップ・カルチャーの郊外拠点となっている	市内には、8 校の大学、9 校の専門学校があることや、交通の利便性も高いことから、学生を中心に多くの若者が町田を拠点に活動しています。また、市内にはライブハウスも多くあり、ポップ・ミュージックの活動が盛んです。加えて、ストリート系のダンスをする若者も多く、ポップ・カルチャーの拠点となっています。
市民の文化芸術活動が活発に行われている（市民意識調査）	文化芸術に関わる活動（創作や出演、習い事、体験活動への参加など）をした市民の割合は 29.5%と、全国 21.7%と比較しても高い傾向にあります。
町田エリアで音楽・演劇活動が活発に行われている（団体アンケート調査）	町田市文化芸術活動団体へのアンケート調査において、75%の団体が町田エリア（町田・玉川学園地区）で活動を行っている。また、活動分野として、音楽（オーケストラ、吹奏楽、合唱、ポップス等）が約 40%であり、演劇・舞踊（15.7%）が続いている。

- 設備の充実した本格的なホールを設立してもらいたい
- 練習する場や制作する場がほしい
- 文化芸術のシンボルとなり、子どもも大人も憧れるような多目的ホールがほしい
- 町田駅前に高齢者でも楽に駅から歩けるホールがあるといい
- 練習の成果を発表する場や機会がもっとあるといい
- ダンスや音楽フェスなど、発表の場がたくさんあれば、町田での活動が広がると思う

【方向性❹】美術品や文化財を保存し、未来に継承していく

◆ 課題解決のキーワード：資源の保存・継承

○ 課題

市が誇る美術品や史跡、重要文化財、民族芸能等の
有形・無形文化財を適切に収集・保存し、
次世代に継承していく必要があります。

○ 現状 、みなさんの想い

他市を圧倒する量・質の美術品コレクションを所蔵している	町田市立の国際版画美術館や博物館で、これまでに収集や保存、研究してきた数万点もの美術品コレクションが収蔵されています。
貴重な有形文化財や遺跡が数多く残っている	国の指定史跡や重要文化財、都の指定文化財など、市内には貴重な文化財や遺跡が数多く残っています。特に、遺跡は縄文時代を中心に市内に 900 か所発掘されており、町田の歴史を示す極めて貴重な資産を保有しています。
無形民俗文化財の担い手が不足している	市内で伝承されてきた獅子舞やお囃子などの無形民俗文化財の担い手の確保が難しくなっています。

伝統芸能を継承していくためには小学生や中学生など、若い人への教育が必要

実際に見てみたい。めずらしい感じがする。学校ではやっていないので興味がある。

TV で見るより、行ってみたい。知らないものをやってみたい。

【方向性❺】文化芸術を支える多様な団体・市民を育成していく

◆課題解決のキーワード：多様な担い手による活動の推進

○ 課題

文化芸術活動を未来につなぎ、発展させていくため、
多様な人や団体を育てていく必要があります

○ 現状 、みなさんの想い

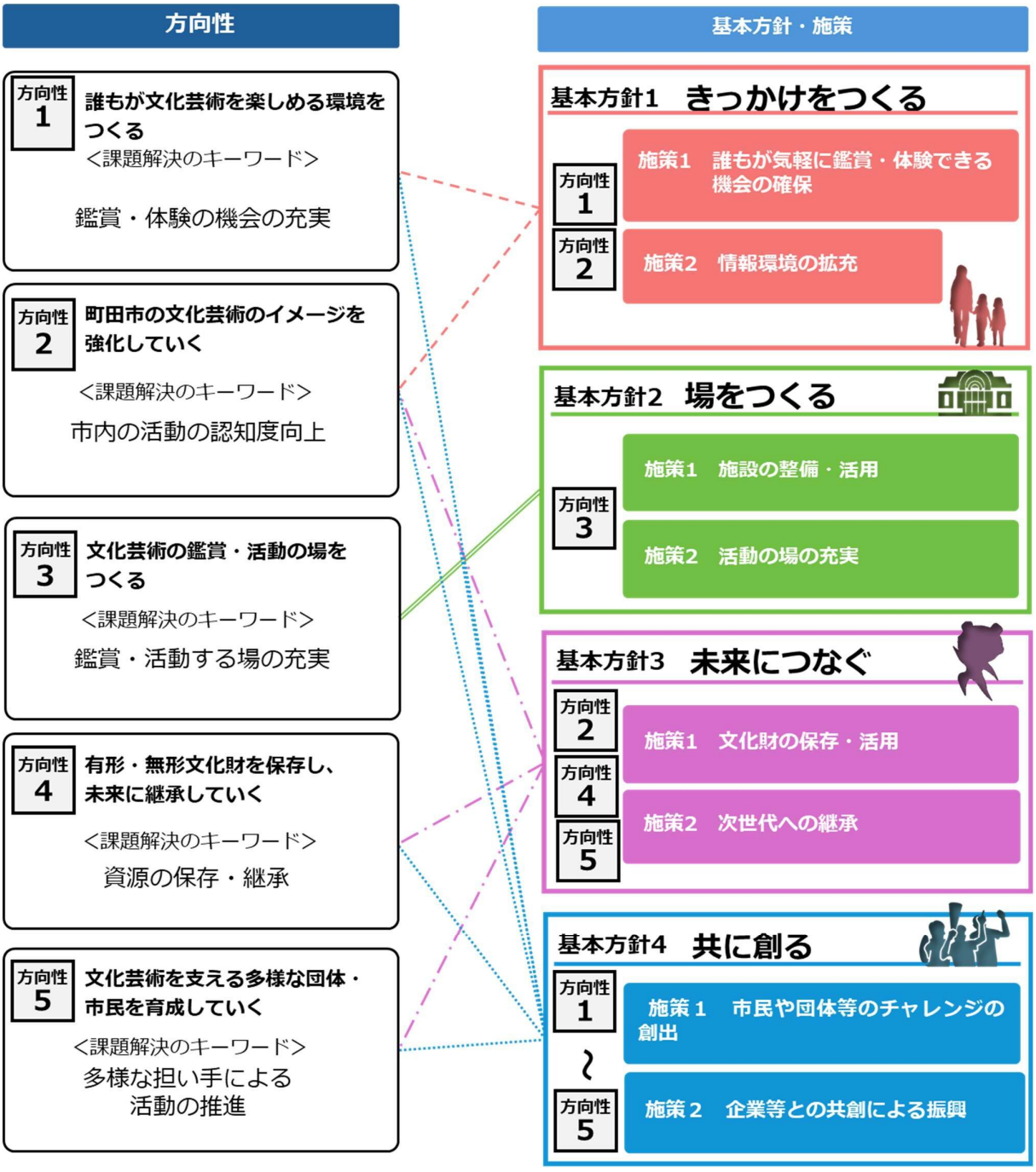
市民が主体的に活動できる土壌が整っている	まちだ○ごと大作戦 18-20[+1]や、二十祭まちだ、まちだ若者大作戦など大人や子ども・若者が自分たちのやりたいことを、自ら叶える取り組みを通じて、市民が主体的に活動できる土壌が整っています。
文化芸術団体の会員の高齢化に加え、会員数が減少している	茶道や華道、書道等の伝統文化を始めとする市民文化団体、クラシック音楽やオペラ、バレエ団体などが数多くある一方、会員の高齢化や、新規会員の獲得が難しいなど、会員数が減少しています。
アーティストの卵が多く住んでいる	市内や周辺には、芸術系の大学や学部が多くあり、アーティストの居住割合が高いものの、「町田にとどまっていては活動を広げにくい」という声があります。

市民や市民団体の力を借りられるよう、市と市民が協働できる仕組みをつくってほしい

高齢者や障がい者など、多様性を尊重するような風土をつくって活動が活発になるといい

6 基本方針と施策

現状や課題、みなさんの想いから導いた方向性や課題解決のキーワードから、文化芸術のまちづくりにあたっての４つの「基本方針」と「施策」を示します。



7 計画体系

基本方針１～３と基本方針４を両輪とし、相互作用することで目指す姿を実現します。

目指す姿

文化芸術を育み 笑顔咲くまち

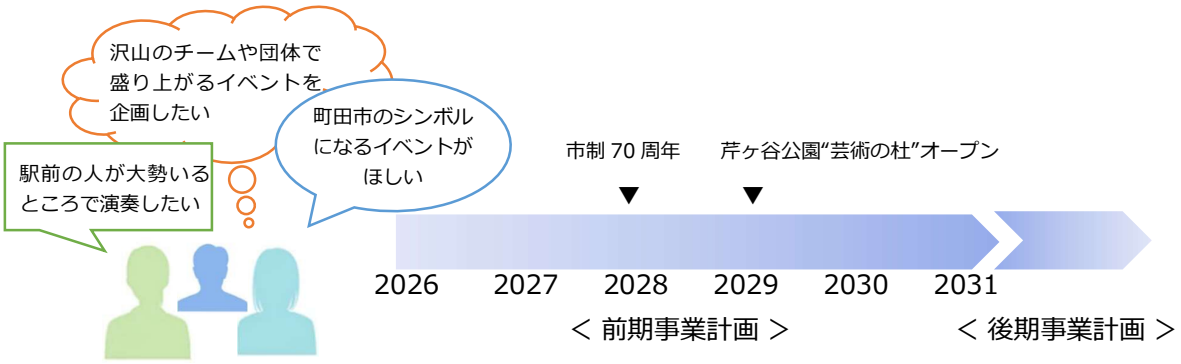
～町田で Let's stART～

8 文化芸術プロジェクト

～まちだ Smile-ring project（スマイリングプロジェクト）～

「文化芸術を育み、笑顔咲くまち～町田で Let's stART～」の実現に向けて、文化芸術活動によって生まれた笑顔の輪を広げ、未来につなげていくため、前期の事業計画期間となる 2031 年度までを、“文化芸術を通じて人と人をつなぎ、町田の文化芸術を育む６か年”と位置付けます。

そして、基本方針を横断したプロジェクト総称を「まちだ Smile-ring project（スマイリングプロジェクト）」と定めて、Ａ～Ｃの３つのプロジェクトを実行します。実行にあたっては、リアルな体験はもちろん、デジタルの要素も活用し、融合しながら展開していきます。



Project A

文化芸術で“みんなの夢”を叶える

まちだ○ごと大作戦 18-20[+1]やまちだ若者大作戦など、市民主体のまちづくりの経験を存分に活かし、来たる市制 70 周年の節目を、文化芸術でまちが一つになる好機と捉えて、「（仮称）文化芸術版○ごと大作戦」の実現を目指します。異分野の多様な主体がコラボし、文化芸術を通じたまちづくりを前提として、みなさんの夢（やりたいこと）を叶える仕組みを整え、実行します。

スケジュール感やイラスト等

Project B

文化芸術大型イベントの実現

地域や民間事業者等とコラボし、町田市を象徴するような大型イベントを実施します。まちの一体感を育み、イベントに関わる人、参加する人たちと喜びや感動を共有するとともに、憧れや関心を集め、新たなチャレンジ、スタートを踏み出せるきっかけをつくります。

Project C

「文化芸術にぎわい創出エリア」の活性化

町田駅周辺の再整備・再開発に合わせて、町田市の文化芸術機能（施設や活動）の集積地である「文化芸術賑わい創出エリア」を一段と活性化させるため、音楽・演劇ホールの導入や映画館の誘致をはじめ、公共空間における文化芸術活動の実施など、文化芸術の活動の場や鑑賞する場を整えます。

9 施策と取り組み

一覧追加

基本方針１

きっかけをつくる

誰もが鑑賞・体験できる環境を整え、文化芸術が身近にある暮らしを実現します。また、誰もが文化芸術活動をスタートしやすい環境を整えるとともに、そのきっかけとなる情報発信を積極的・効果的に行います。

取り組みの成果を測るための指標

	計画当初値		２０３５年度
◆市内で文化芸術活動に触れる機会を持つことができた市民の割合	●●%	▶	●●%
◆ＳＮＳのフォロワー数	●●人	▶	●●人
◆イベント情報の閲覧数	●●	▶	●●

施策１　誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保

文化芸術イベントの開催

NEW

画像・イラスト挿入

誰もが気軽に文化芸術に触れ、その魅力を体験できる機会を提供するため、文化芸術イベントを開催します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

Future Park Lab（フューチャーパークラボ）

画像・イラスト挿入

芹ヶ谷公園“芸術の杜”の再整備に向けて、多様な文化芸術活動や芹ヶ谷公園の豊かな自然に触れ、学び、楽しむことができる新しい体験型の公園を目指して、将来の姿をみんなで想像し、実際に創造してみる市民参加型イベントを実施します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

地産地 SHOW

画像・イラスト挿入

町田市ゆかりのアーティストの活動支援を行うとともに、多くの方々が、気軽に文化芸術に触れられるイベントを実施します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

ひとこと POP コンテスト

画像・イラスト挿入

市内在住・在学などの小学校４年生～18 歳の図書館利用者から、「本のＰＯＰ（書店等でおすすめ本を紹介する際に作成するカード)」を募集します。受賞作品はしおりとして、実際に図書館や協力書店等で配布します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者)】

まちなかシネマ

画像・イラスト挿入

町田ターミナルプラザ市民広場で、気軽に参加できる野外映画上映会を実施します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者)】

町田さくらまつり

画像・イラスト挿入

「町田のさくら」の魅力を楽しんでいただけるよう、桜の名所を散策し、様々な催しに参加できる、市内全域でお祭り・イベントを開催します。市民団体・学生等による郷土芸能やダンス等の演目披露や、作品展示などを行っています。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者)】

施策２　情報環境の拡充

文化芸術プロモーション

文化に親しむ機会の提供や、文化芸術の発展を推進するために、インスタグラムで文化芸術イベント等を発信します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

イベントのオンライン配信

市内で行われるイベントをオンライン配信・ライブ配信し、誰でもイベントに参加できる環境を整えます。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

美術品や文化財のデジタル公開

国際版画美術館や博物館の作品、町田の歴史を誰もがいつでも分かりやすく学べるよう、デジタルアーカイブ化します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

まちだアーティストバンク

画像・イラスト挿入

町田市ゆかりのアーティストとイベント主催者等とのマッチングを促進し、アーティストの皆様の活躍の場を広げることや、誰もが文化芸術に身近に触れられる環境をつくります。

エリア：

実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

基本方針２

場をつくる

町田の立地や自然を活かした文化芸術の鑑賞や活動の場をつくり、基盤となる拠点を整備・活用していきます。

取り組みの成果を測るための指標

	計画当初値		２０３５年度
◆自主的な文化芸術活動が活発であると思う市民の割合	●●%	▶	●●%
◆文化施設利用率の平均値	●●%	▶	●●%
◆新たに文化芸術活動ができる場の数	●●か所	▶	●●か所

施策１　施設の整備・活用

文化芸術ホールの整備

将来にわたって町田市が賑わい続けるまちとするため、町田駅周辺の中心市街地に、“誰かと一緒に楽しむ・体験する”といったエンターテイメントによる新しい賑わいの場として、文化芸術ホールを整備するための検討を行います。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

練習・制作場としての活用

文化芸術以外の公共施設等で現在使用していない施設を、文化芸術の練習・制作の場として活用できるようにします。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

芹ヶ谷公園“芸術の杜”「美術エリア」の整備

町田らしい多様なアート・カルチャーを体現する魅力的な企画やイベントが、美術館にとどまらず、緑あふれる公園の空間やまちなかと一体となって展開されている”芸術の杜”ならではの美術館等を整備します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

施策２　活動の場の充実

道路空間等の活用

画像・イラスト挿入

トンネル等の壁や標識などを含めた道路空間、緑地や自然空間等にアートを取り入れ、文化芸術を感じるまちにします。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

みんな笑顔の展覧会

画像・イラスト挿入

市内の障がい福祉施設で、生活指導の活動取り組みから、様々な工作作品を作成している事業所が多くあります。利用者が制作する作品類を集めて、市役所イベントスタジオにて展示し、障がい者福祉施設の魅力を周知、PR します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

水曜午後の音楽会

画像・イラスト挿入

和光大学ポプリホール鶴川において、月１回、第３水曜日に、町田市ゆかりの若き演奏家による演奏会を実施します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

基本方針３

未来につなぐ

市の貴重な資産であり、歴史を物語る文化財を保存・活用します。また、文化芸術を担う人財のもつ技術や思いを次世代につなげ、文化芸術活動が続けられてきた土壌を育んでいきます。

取り組みの成果を測るための指標

	計画当初値		２０３５年度
◆文化財や伝統芸能等が大切にされていると思う市民の割合	●●%	▶	●●%
◆文化芸術団体やアーティストと共演・共作できる参加型イベント実施数	●●回	▶	●●回
◆アーティスト指導者の登録者数	●●人	▶	●●人

施策１　文化財の保存・活用

美術・工芸コレクションの展示

画像・イラスト挿入

国際版画美術館の歌川広重の東海道五拾三次などの版画作品コレクションや、博物館の東南アジアの陶磁器コレクション、ボヘミアングラスなどの工芸品を展示します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

出張歴史授業

画像・イラスト挿入

考古・歴史・民俗資料を活用した授業プラグラムを設け、市内小中学校に出張授業を行います。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

高ヶ坂石器時代遺跡の整備

画像・イラスト挿入

2014 年から開始している、市内唯一の国指定史跡「高ヶ坂石器時代遺跡」を整備します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

スマホと歩こう！まちだウォーキングラリー

画像・イラスト挿入

文化財や観光スポットを巡るデジタルスタンプラリーを実施します。また、デジタルミュージアムや、文化財に関する YouTube 動画をイベント内で紹介します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

施策 2　次世代への継承

工芸制作プログラムを実施

画像・イラスト挿入

子どもたちが工芸美術に親しめる環境をつくるため、学校と連携して、工芸制作プログラムを実施します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

ことばらんどショートショートコンクール

画像・イラスト挿入

子どもたちに創作活動の機会を提供し、文学と触れ合うきっかけをつくることで、自由な発想や創造力を向上し、文章力の育成を図るため、「ことばらんどショートショートコンクール」を実施します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

アーティストとの共演・共作イベント

画像・イラスト挿入

アーティストの舞台での共演やアーティストとの共作を通し、文化芸術を「する」体験をします。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

アーティスト指導者のデータベース

画像・イラスト挿入

アーティストや指導者を育てる人材をデータベース化し、またアーティストや指導者を目指す際の悩み事を相談できるしくみを検討します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

小・中学校での体験学習

画像・イラスト挿入

読み聞かせ、茶道体験、華道体験、伝統文化等の文化芸術を体験したり、講師から話を聞く機会を各学校で実施します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

基本方針４

共に創る

若者や市民、文化芸術団体、企業等と共に、文化芸術を創作する機会をつくり、エンターテインメントの要素を取り入れたまちをつくります。

取り組みの成果を測るための指標

	計画当初値		２０３５年度
◆市民や企業と協力した文化芸術のまちづくりが行えていると思う市民の割合	●●%	▶	●●%
◆文化芸術団体の活動状況の満足度	●●%	▶	●●%
◆やりたい場所でやりたことが実現した数	●●回	▶	●●回

施策１　市民や団体等のチャレンジの創出

町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」

画像・イラスト挿入

市内で活動する NPO 法人や市民活動団体、地域活動団体（町内会・自治会）などが一堂に会し、活動発表などを通じて交流を深める町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」を実施します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

市民センターまつり

画像・イラスト挿入

市民センター活動している団体と共に、地域団体による舞台発表や作品展示などを実施します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

文学館まつり

画像・イラスト挿入

地域住民と共に、文学館館内でのイベントに加え、文学館通りを歩行者天国にして飲食ブースやライブイベントなどの祭りを実施します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

町田時代祭り

画像・イラスト挿入

鎌倉武士や農兵隊に思いを馳せながら、地域の歴史や文化を感じることができるお祭りを開催します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

施策２　企業等との共創による推進

やりたい場所でやりたいことができる

画像・イラスト挿入

市民や文化芸術団体などの文化芸術のやりたいことの実現に向け、市が後押しする事業を実施します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

ようこそ！鶴川 OMOTENASHI 祭り

画像・イラスト挿入

鶴川協議会が主催となり、鶴川エリアの歴史ある施設やレジャー施設等の魅力を発信するイベントを実施します。市は協力。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

官学連携によるイルミネーション企画の実施

学校法人玉川学園と連携し、社会問題化している放置竹林の再生と活用をテーマとしたイルミネーション演出企画。実施に当たっては小野路地域にある竹林で玉川学園と協働で伐採した竹を、材料の一部として使用します。

エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

大学や企業とのパートナーシップ協定

これから活動していく新たな文化芸術活動について、大学や企業とパートナーシップ協定を締結し、推し進めていきます。

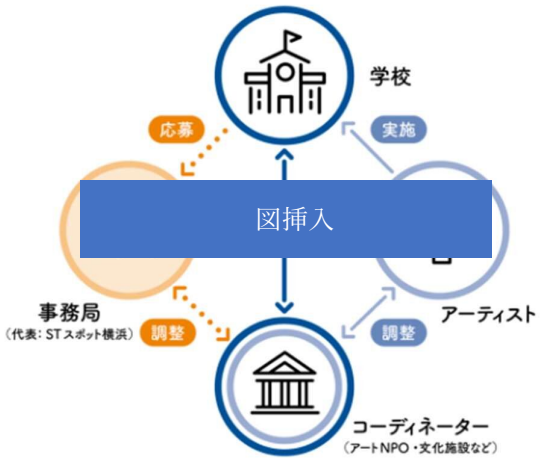
エリア：
実施時期：●月、●月

【担い手（主な活動団体・事業者）】

10 計画の推進体制

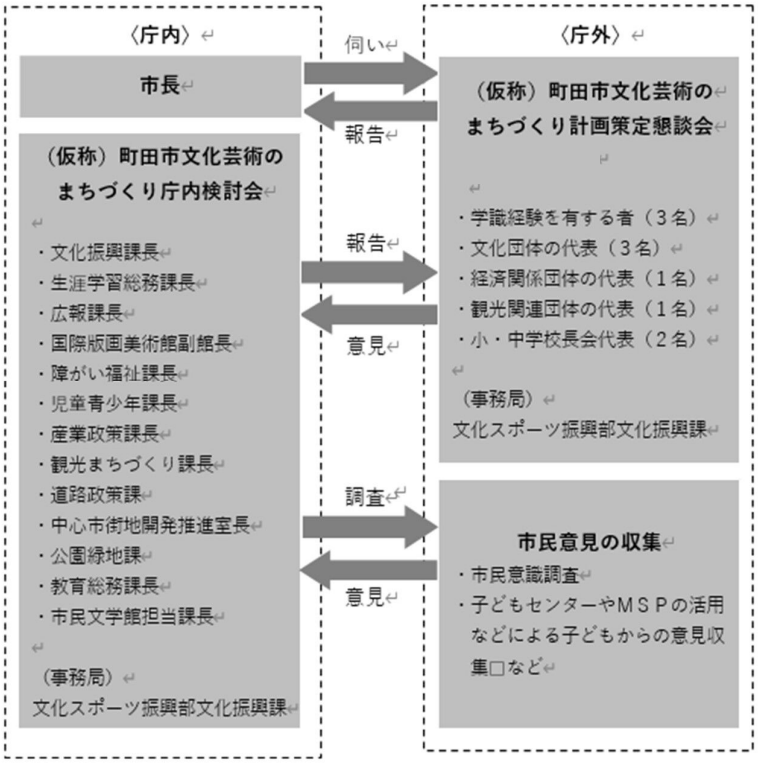
（１）庁内の推進体制

（２）町田市文化芸術のまちづくり推進委員会



計画の策定体制

本計画の策定にあたっては、市民等の意見を聴取するため、「町田市文化芸術のまちづくり計画策定懇談会」を設置するとともに、庁内で連携した検討を進めるため、「町田市文化芸術のまちづくり計画庁内検討会」を設置した。



※町田市文化芸術のまちづくり計画策定懇談会　委員名簿

No	選出区分	委員名	所属
1	学識経験者	山口　有次	桜美林大学ビジネスマネジメント学群教授
2	学識経験者	長尾　洋子	和光大学表現学部総合文化学科教授
3	学識経験者	藤枝　由美子	玉川大学芸術学部アート・デザイン学科教授
4	文化関係団体の代表	宗田　隆由	一般財団法人町田市文化・国際交流財団
5	文化関係団体の代表	髙野　宗佳	一般社団法人町田市文化協会
6	文化関係団体の代表	髙橋　倫正	町田市郷土芸能協会
7	経済関係団体の代表	佐藤　正志	町田商工会議所
8	観光関係団体の代表	亀田　文生	一般社団法人町田市観光コンベンション協会
9	町田市公立小学校長会の代表	百田　明弘	相原小学校校長
10	町田市公立中学校長会の代表	福田　秀樹	成瀬台中学校校長

※2023年7月1日現在

2 検討経緯

２０２３年度

〇第１回庁内検討委員会

【開催日】

２０２３年7月１３日

【議題】

１町田市文化芸術のまちづくり計画について

（１）計画の位置づけ及び期間

（２）検討体制

（３）今後のスケジュール

２現状報告

（１）文化芸術推進をめぐる社会環境の変化

（２）町田市の文化芸術資源

（３）これまでの町田市の取組

３計画の考え方

４文化芸術に関するアンケート調査・

〇第１回懇談会

【開催日】

２０２３年7月３１日

・・・

3 調査結果概要

○2023 年度　町田市文化・芸術に関する市民意識調査

【調査対象】

町田市内在住の 18 歳以上の者 3,000 人（無作為抽出）

【調査期間】

2023 年 9 月 1 日（金）～9 月 15 日（金）

【調査手法】

郵送配布、郵送・WEB 回収

【有効回答率】

30.3%（回収数 909 件）

○（仮称）町田市文化芸術のまちづくり計画子どもセンターアンケート

【調査対象】

市内子どもセンター 6 館に来館された小学生から高校生

【調査期間】

2023 年 7 月から 8 月

【調査手法】

対面でのききとり

○2022 年度 町田市文化芸術活動団体へのアンケート調査

【調査対象】

市内で活動する文化芸術団体　200 件

【調査期間】

2022 年 12 月 27 日（火）～2023 年 1 月 13 日（金）

【調査手法】

郵送配布、郵送・WEB 回収

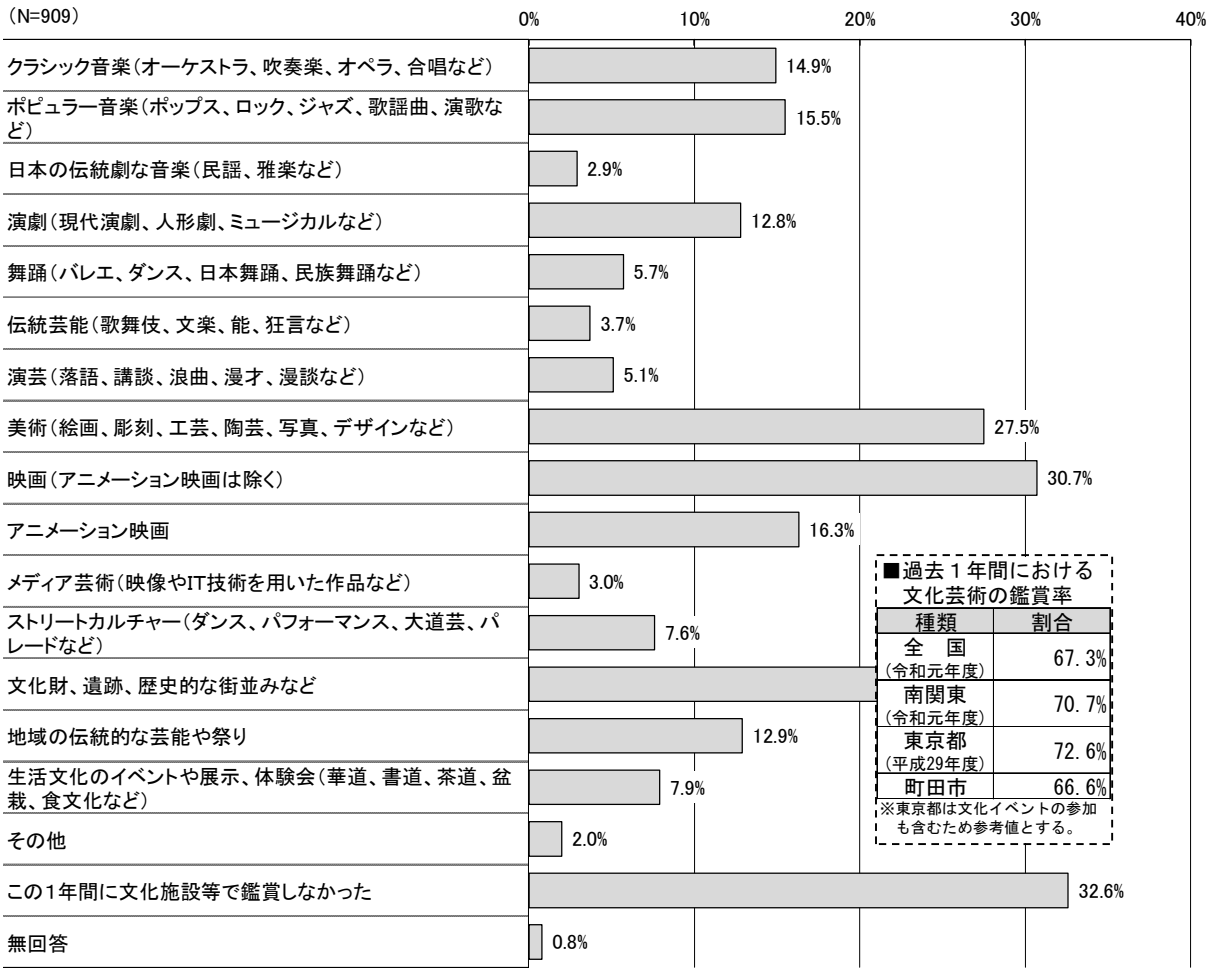
【有効回答率】

50.4%（回収数：108 件）

■図表１　2023 年度　文化芸術に関する市民意識調査結果

あなたは、この１年間に、ホールや劇場、美術館、博物館、映画館などにでかけて文化芸術を鑑賞しましたか。（テレビ、ラジオ、CD・DVD、インターネット配信等での視聴を除く鑑賞）（いくつでも）

＊比較は東京都「文化に関する意識調査」（2017）、文化庁「文化に関する意識調査」（2020）

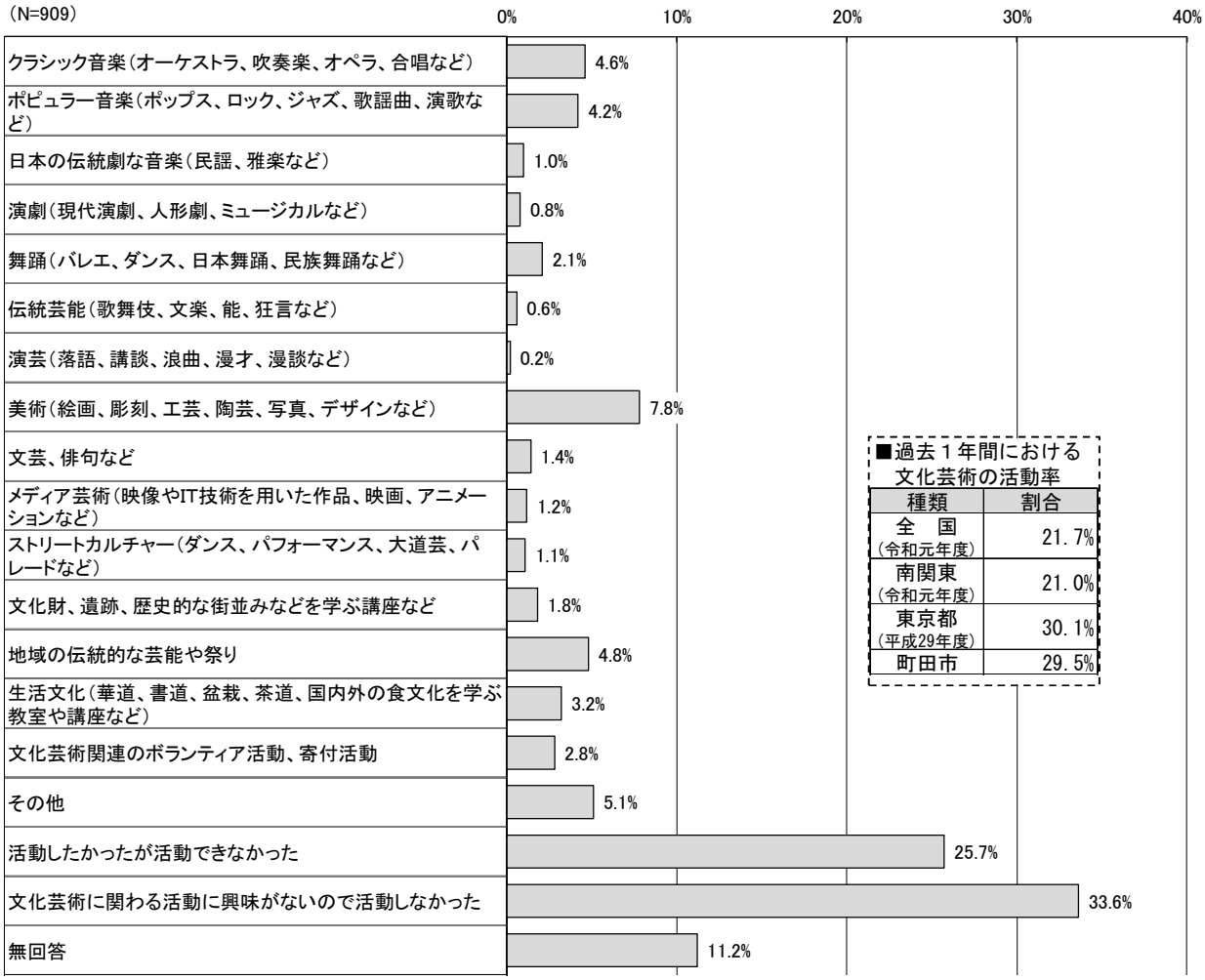


その他の内容：博物館等（２件）等

■図表２　2023 年度　文化芸術に関する市民意識調査結果

あなたは、この１年間に、文化芸術に関わる活動（創作や出演、習い事、体験活動への参加など）をしましたか。（いくつでも）

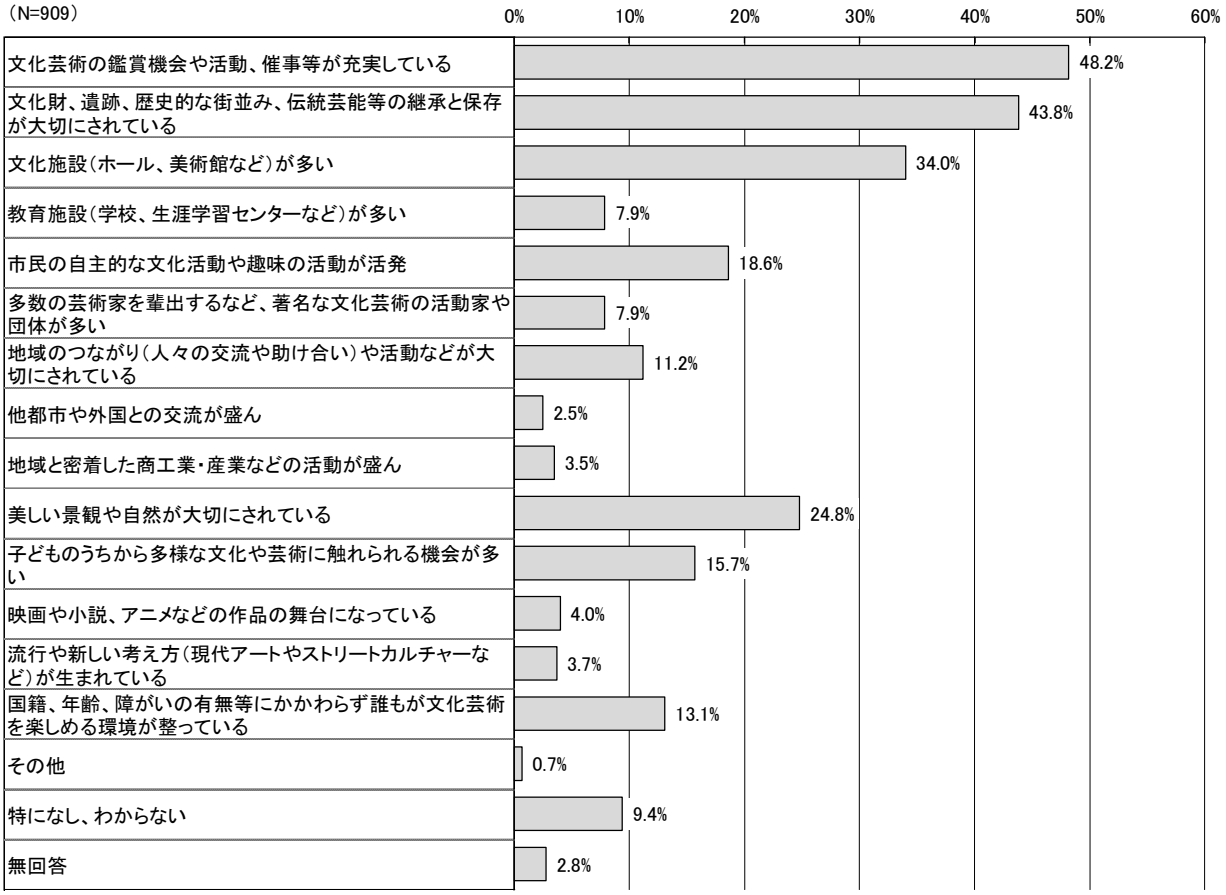
＊比較は東京都「文化に関する意識調査」（2017）、文化庁「文化に関する意識調査」（2020）



その他の内容：その他の理由により活動していない（６件）、その他音楽（３件）等

■図表３　2023 年度　文化芸術に関する市民意識調査結果

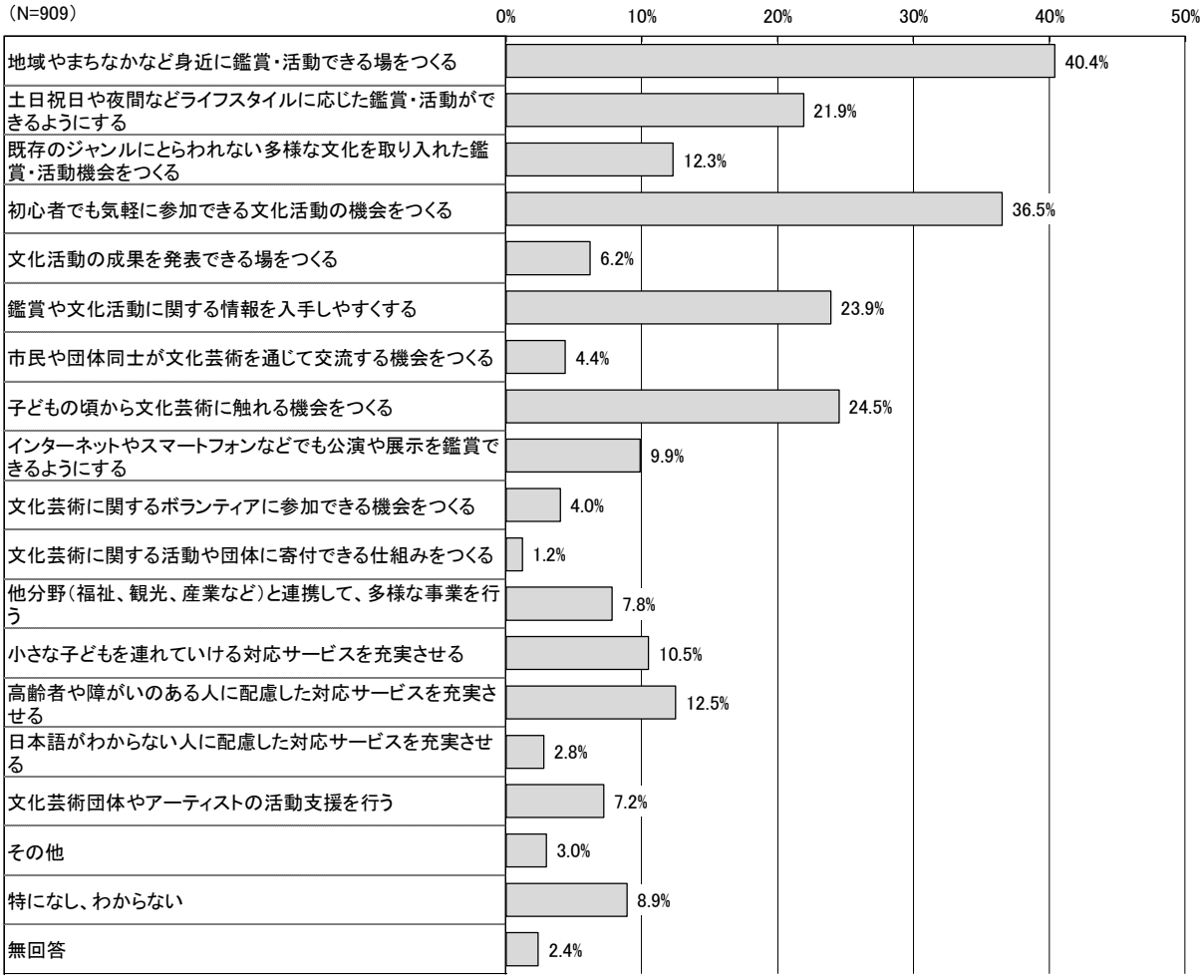
「文化的なまち」の言葉のイメージの選択肢のうち、町田市のイメージに合うものがあれば番号をご記入ください。（いくつでも）



その他の内容：図書館が充実している（１件）、住民の文化への意識が高い（１件）等

■図表４　2023 年度　文化芸術に関する市民意識調査結果

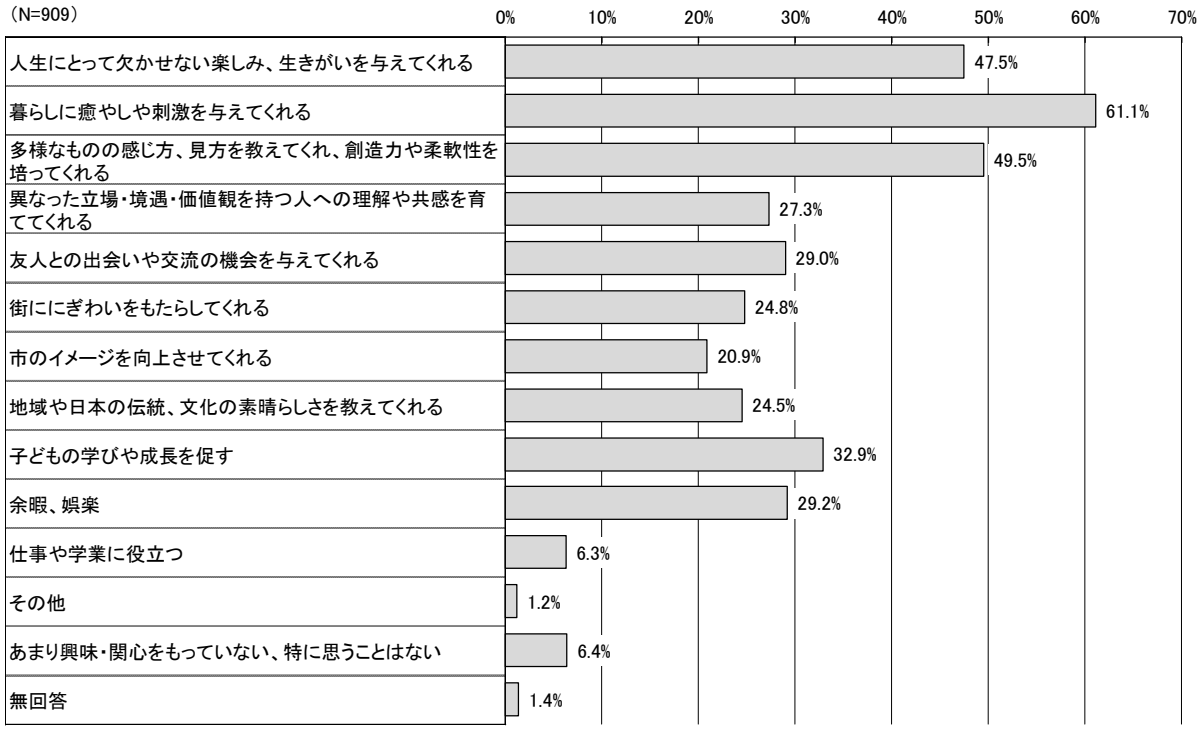
あなたは、文化芸術に親しむ市民が増えるために、どのような市の取り組みが必要だと思いますか。（3 つまで）



その他の内容：施設の充実（３件）、今のままでいい（３件）

■図表５　2023 年度　文化芸術に関する市民意識調査結果

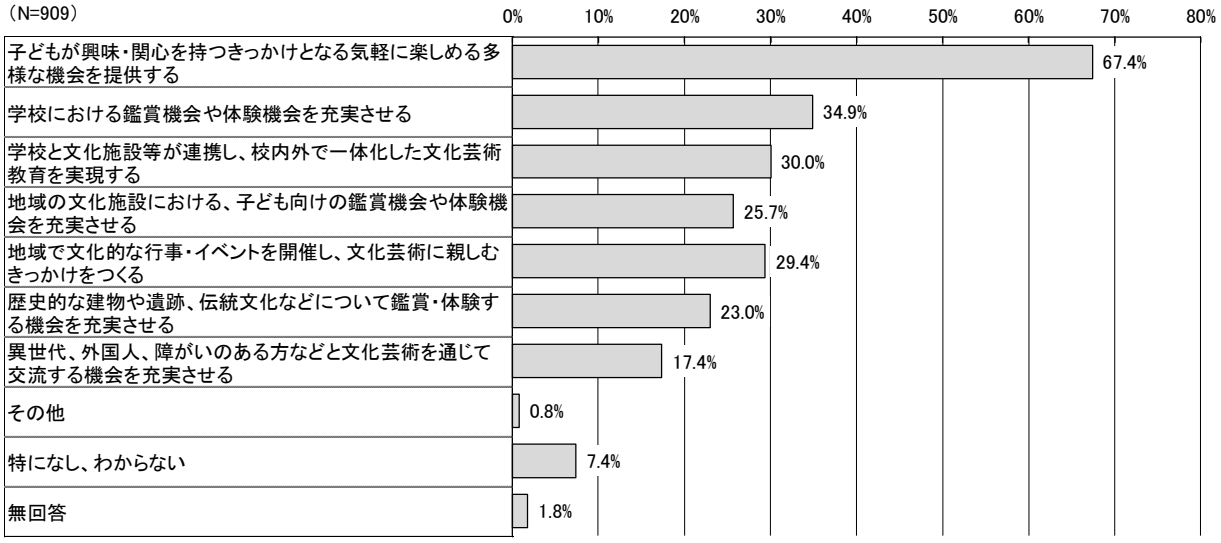
あなたにとって、文化芸術にはどのようなチカラがあると考えますか。（いくつでも）



その他の内容：人の心を変える（１件）、町の活性化（１件）等

■図表６　2023 年度　文化芸術に関する市民意識調査結果

あなたは、中学生以下の子どもの文化芸術体験について、何が重要だと思いますか。（3 つまで）

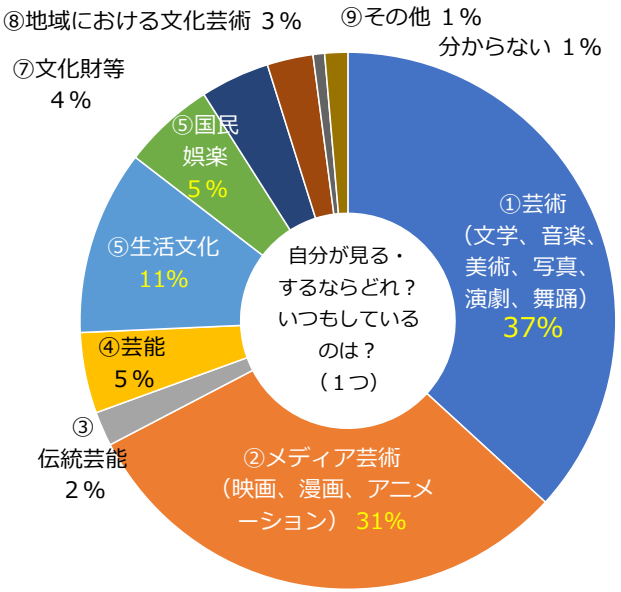


その他の内容：家族での体験を充実させる（１件）

■図表７　2023 年度 子どもセンターききとり調査結果

文化芸術について、自分が見る・するとしたら何がいいか。（１つだけ）

＊町田市内６つの子どもセンターで４歳から高校３年生までの 145 人に意見聴取。



【選択肢①及び②を選んだ理由】

・いつも家や習い事等でしているから

・好きだから、楽しいから

・周りのみんながしているから

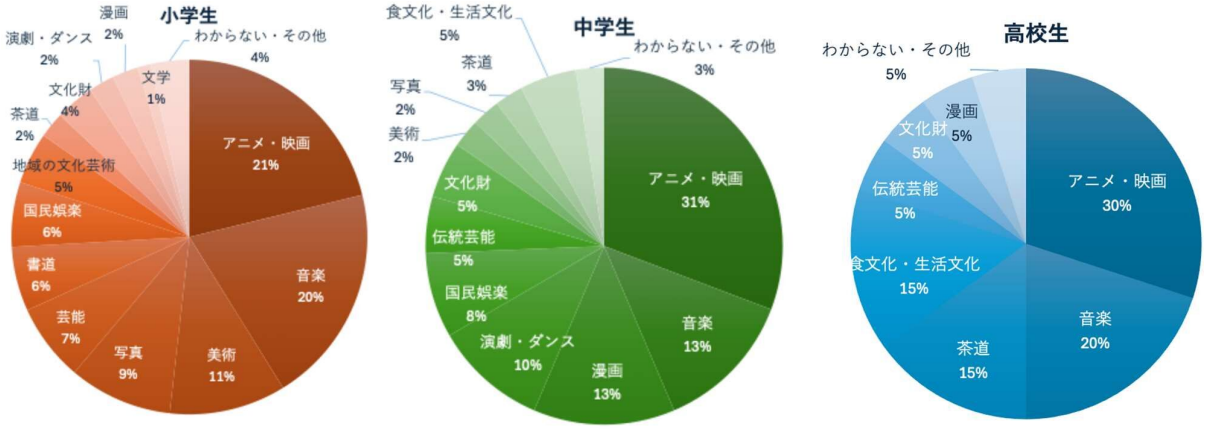
・うまくできるようになるとうれしいから

【選択肢③及び⑤、⑧を選んだ理由】

・新しいことにチャレンジしてみたいから

・知らないからこそやってみたいから

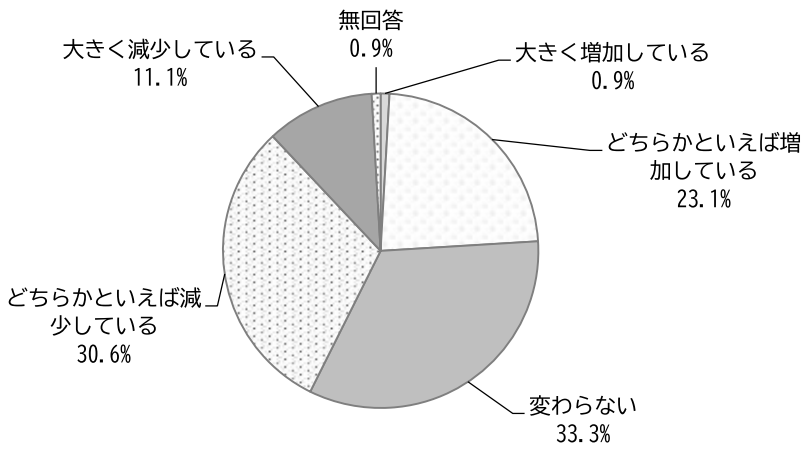
・家族等身近な人がしているのを見ているから



■図表８　2022 年度 文化芸術活動団体へのアンケート調査結果

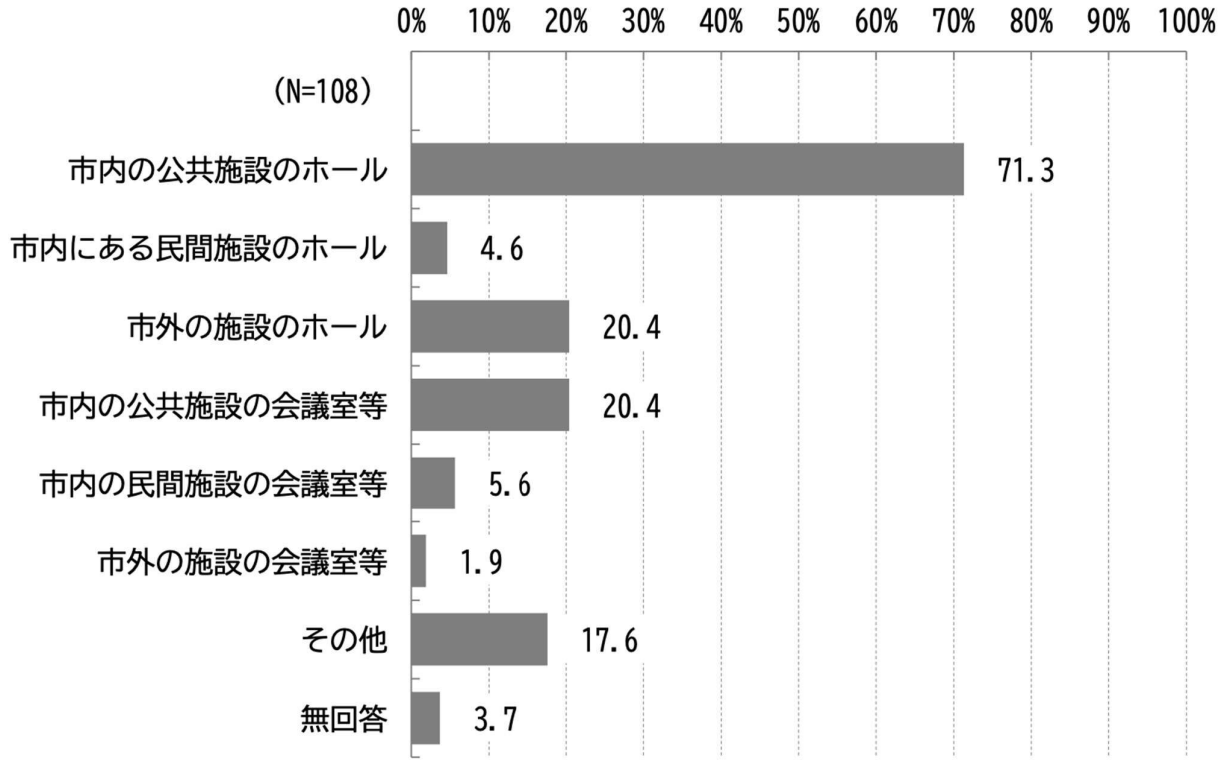
３年前と比較した会員数の増減を教えてください。設立から３年以内の団体は設立時からの比較でお答えください。（１つだけ）

（N=108）



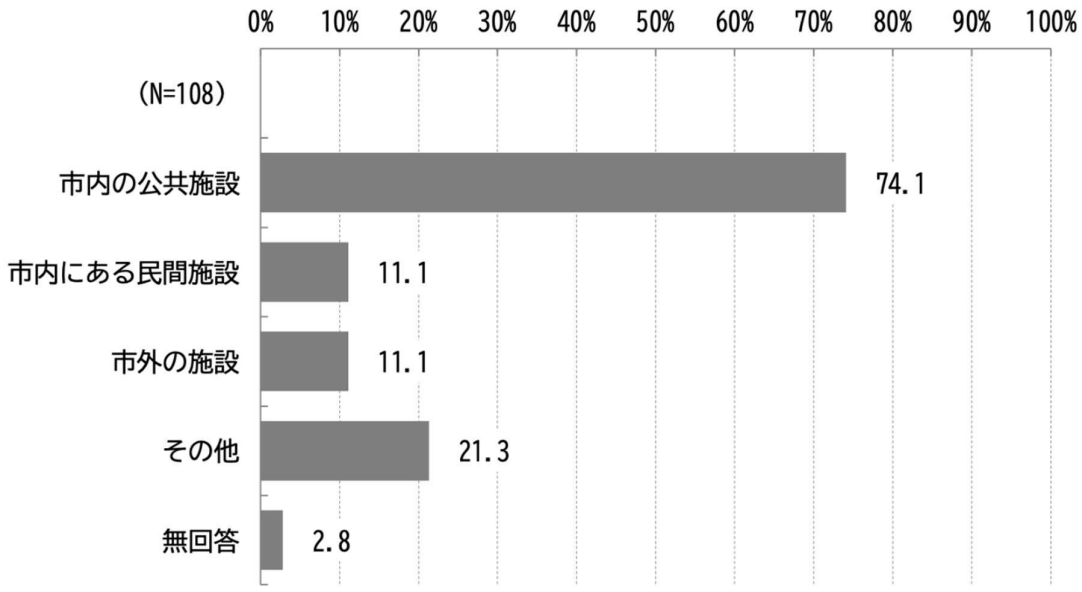
■図表９　2022 年度 文化芸術活動団体へのアンケート調査結果

成果の発表や展示会などに利用している施設や場所を教えてください。(複数選択可)



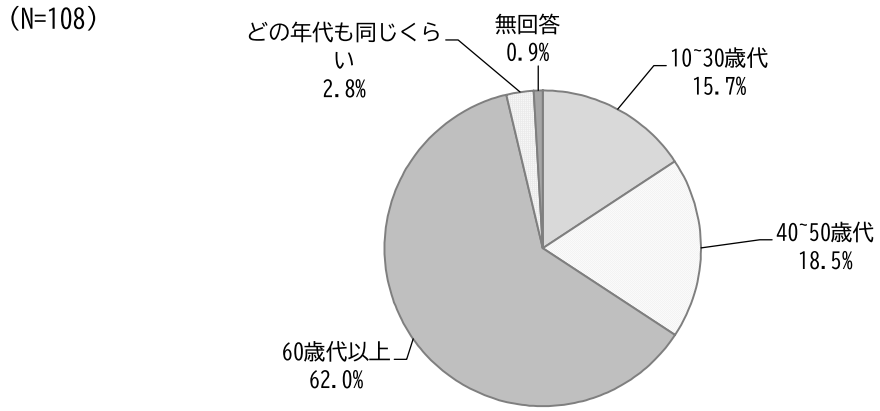
■図表 10　2022 年度 文化芸術活動団体へのアンケート調査結果

日常的な練習や創作などの活動に使っている施設や場所を教えてください。(複数選択可)



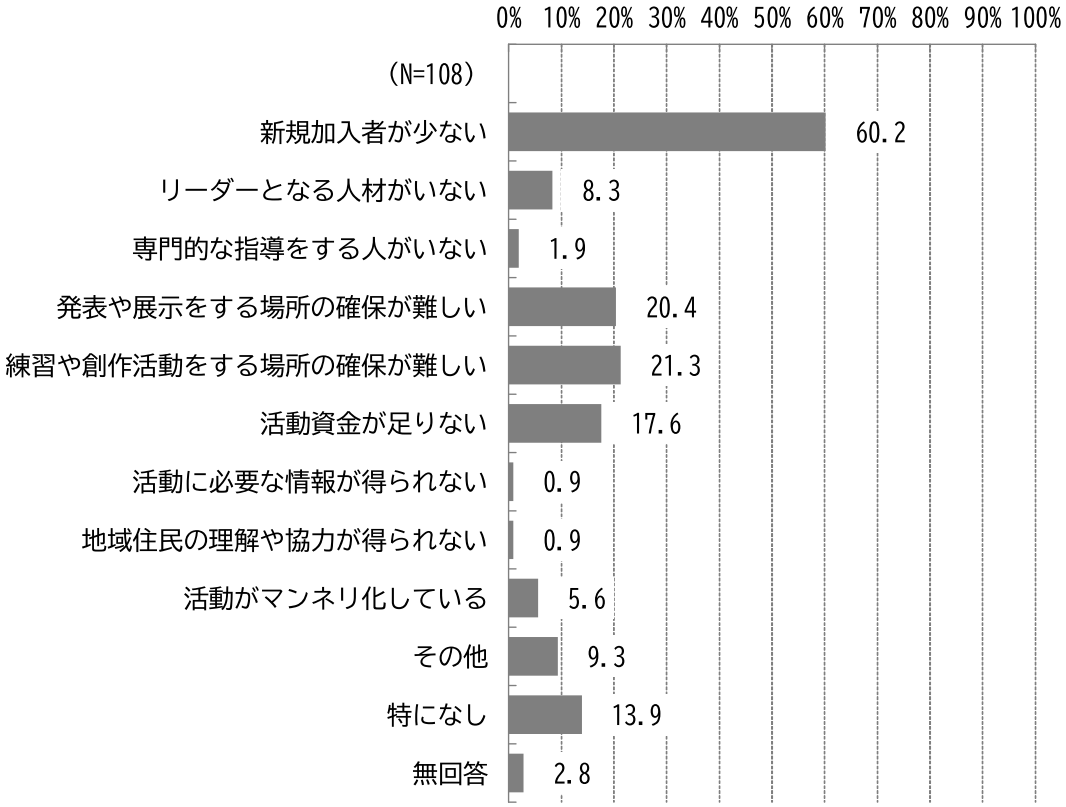
■図表 11　2022 年度 文化芸術活動団体へのアンケート調査結果

団体の活動においてどのような課題がありますか。（いくつでも）

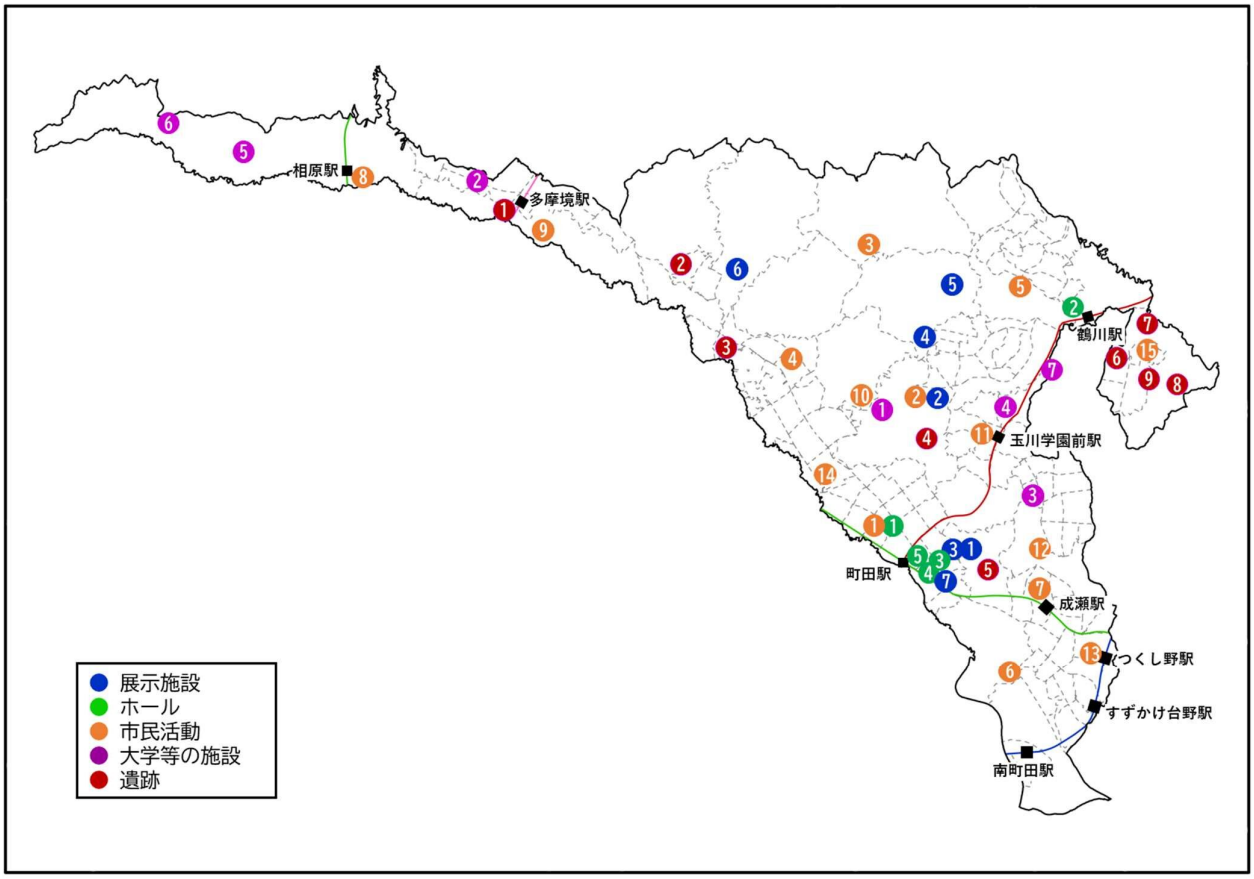


■図表 12　2022 年度 文化芸術活動団体へのアンケート調査結果

団体の活動においてどのような課題がありますか。（いくつでも）



■図表 13　町田市内の主な文化施設の配置図



展示施設
1. 町田市立国際版画美術館
2. 町田市立博物館
3. 町田市民文学館ことばらんど
4. 町田市フォトサロン
5. 町田市立自由民権資料館
6. 町田市考古資料室
7. 町田市立図書館

ホール
1. 町田市民ホール
2. 和光大学ポプリホール鶴川
3. 町田市民フォーラム
4. 町田市文化交流センター
5. 町田市生涯学習センター

市民活動
1. 町田市庁舎
2. 青少年施設ひなた村
3. 小野路宿里山交流館
4. 忠生市民センター
5. 鶴川市民センター
6. 南市民センター
7. なるせ駅前市民センター
8. 堺市民センター
9. 小山市民センター
10. 木曽山崎コミュニティセンター
11. 玉川学園コミュニティセンター
12. 成瀬コミュニティセンター
13. つくし野コミュニティセンター
14. 木曽森野コミュニティセンター
15. 三輪コミュニティセンター
16. 上小山田コミュニティセンター

大学等の施設
1. 桜美林芸術文化ホール
2. サレジオ工業高等専門学校
   サレジアンホール
3. 昭和薬科大学　記念講堂
4. 玉川大学 University Concert Hall
   2016
5. 東京家政学院大学
   大江スミ記念ホール
6. 法政大学　百周年記念館
7. 和光大学　Ｊホール

遺跡
1. 田端環状積石遺構
2. 小山田１号遺跡
3. 忠生遺跡Ｂ地区
4. 本町田遺跡公園
5. 高ヶ坂石器時代遺跡
6. 三輪南遺跡群
7. 白坂横穴古墳群
8. 西谷戸横穴墓群
9. 下三輪玉田谷戸横穴墓群